

Health

ADVICE

松岡診療放射線技師の

くらで病院スタッフ
からの健康
アドバイスです

調子はいかが？

くらで病院 ☎ (42) 1231



今度、MRIの検査を受けることになりました。
どのような検査でしょうか。

MRI検査とは

MRI検査は磁気共鳴画像 (Magnetic Resonance Imaging) の略でX線を使用せず、強い磁石と電磁波を使って体内の状態を断面像として写す検査です。当院のMRI装置は現在主流の磁場強度1.5T (テスラ) を有し高性能できれいな画像を写すことができます。

MRI検査の実際

台の上に寝た状態でトンネルの中に入って、じっと動かさないようにしていただきます。ほとんどの検査は20〜30分ほどで終わりますが、造影剤を使用したり広い範囲を検査する場合は1時間ほどかかることもあります。

検査中は大きな音が鳴り響きます。これは電氣的に磁場を変化させるために電流の切り替えを繰り返すことによる空気が振動するためで、わざと鳴らしているわけではありません。

聞こえる音をやわらげるためにヘッドホンから音楽を流したり、耳栓をしてもらったりしています。

MRI検査の長所

MRI検査の長所については、次のとおりです。

- ① 被ばくがない。
- ② 造影剤を使用しなくても血管を写すことができる。
- ③ 脊髄、椎間板、軟骨などCTではわからない所もよくわかる。

④ 早期の脳梗塞がよくわかる。

⑤ レントゲンやCTではわからない骨折がよくわかる。

⑥ MRCPという検査で総胆管結石や膵臓嚢胞がよくわかる。

代表的なもののみを示しましたが、これら以外にも数多くの長所があります。

MRI検査の注意事項

体内にペースメーカーなどの生体装置や金属が入っている方や入れ墨やアートメイクをしている方は、検査ができない場合があります。

付けまつげやマスカラ、アイシャドーなどは金属成分が含まれるため除去していただくことになるので、MRI検査を受ける際は薄化粧をお願いします。

眼鏡・時計・入れ歯・補聴器・湿布薬・磁石付き絆創膏・カイロなどははずして検査を受けていただきます。

閉所恐怖症の方は検査を受けるときにあらかじめ病院スタッフにお伝えください。足からトンネルに入った鏡の外が見えるようにしたりして、苦痛をやわらげるようにいたします。

最後に

もしMRI検査に興味がある場合は一度主治医に相談してみてくださいはいかがでしょうか。



【アドバイザー】

松岡 啓介・まつおかけいすけ・平成11年岐阜医療技術短期大学卒業後
平成11年から鞍手町立病院（現地方独立行政法人くらで病院）勤務。診療放射線技師

MRI検査は、強い磁石と電磁波を使い体内の状態を断面像として写す検査です。X線を使わないため、被ばくのリスクがないなど様々な長所があります。興味のある場合は主治医にご相談ください。